

# かめおが

## 市議会だより

2019年(令和元年)10月31日



亀岡市観光マスコットキャラクター  
明智かめまる



### 令和元年9月議会

対談	決算審査に思う	P.3
特集	平成30年度決算を認定	P.4~5
委員会報告	議案審査など	P.6
本会議での討論、議決結果		P.7~8
一般質問	21人の議員が市政を問う	P.9~16

**コウノトリが飛来**  
ようこそ亀岡へ!  
幸せを運んで  
きてくれたの?



～会派を超えて対談～



新清流会 浅田 晴彦 議員

公明党議員団 藤本 弘 副議長/決算特別委員長

共産党議員団 長澤 満 議員

長澤 私もそう感じました。また、限られた時間で担当から次々と説明を受けるので、当然のことですが、事前にはいたいた資料に目を通して、しっかりと予習することが大事で

浅田 決算審査は分科会方式で行われ、それぞれの分科会に特化して、集中審査を行えるので、理解しやすいと感じました。

藤本 決算審査を終えた率直な感想は、市民にとって、議員や議会はどのような存在であるべきなのか。会派を超えて議員みんなで話し合う新企画が始まりました。今回は、決算審査に初めて加わった1期目の議員と決算特別委員長との3人で語り合いました。

### より深く審査するための工夫と難しさを実感 次の予算に生かすことと市民への説明責任を念頭に

とは何ですか。

浅田 事務事業評価です。評価項目を選択する難しさを感じました。例えば、「廃止」とした事業がありました。私はこの言葉が妥当なのか、市民が聞いたら驚かないか、誤解されないか、すいぶん迷いました。

長澤 私も事務事業評価が印象に残りましたね。最後の評価結果が、あの項目の文言※だけでは言い表せない部分がある。一つ一つの事業をみていくことが大事ですね。

それと、審査結果を市民に分かりやすく説明していくことも、我々議員の責務だと思います。

【次号は他の議員が登場します。】



和やかな雰囲気で行われた対談

(※) 事務事業評価結果の項目

1	拡充
2	現状維持
3	見直しの上継続
4	見直しの上縮小
5	休止・廃止・終了
6	その他

(上記から1つを選んで評価します)

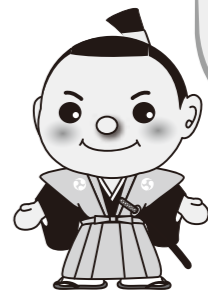
# かめまるくんと しんがくんの 議会とーく



亀岡市観光マスコットキャラクター 明智かめまる

「コウノトリが亀岡に 来てくれたんだね！ このまま亀岡に移住 してくれないかなあ。」

「そこなればいいね。 人も移住・定住して もらえるよう、いろいろな 施策があるけど、 なかなか難しいんだ。」



石田梅岩イメージキャラクター しんがくん



《表紙の写真》…「コウノトリ」(撮影:浅田晴彦議員) 「コウノトリは、湿地生態系の頂点に君臨する鳥で、大型の淡水魚をはじめとする水生動物から、ヘビやバッタのような陸生動物まで、多様な生き物を食べる肉食の鳥です。現在では、極東に2千羽あまりしか生息していない絶滅危惧種です。表紙のコウノトリは、平の沢公園の上池で撮影されたもので、兵庫県豊岡市で人口繁殖されたものが飛来してきたと思われまます。」



「うんうん...」

「9月議会は、「決算審査」つまり「昨年度のお金の使い道」をチェックするんだよね？」



「あゝ、覚えていたね。」

「決算審査では、資料に基づく担当部からの説明に対して細かく質疑したり、資料請求や現地視察を行ったりして深く審議したんだよ。事務事業評価では、「移住・定住促進経費(離れ)にのうみ」について、これまでの事務事業評価で初めて「廃止」という結果を出したんだ。」



「えっ？」

「「離れ」にのうみが 廃止ということは、 取り壊されちゃうの？」



「いや、」

「そうではなくて、 移住・定住目的の 施設という位置付 けをなくすということなんだ。」



「予算審査のときも そのことが問題になったけど、議会は可決したんだ。 でも、短い期間で廃止という結論を出したという事は、議会としての見直しはどうだったのか。これからどうするのか。議会の責任が問われることになるね。」

決算審査は4・5ページへ

## 限られた財源の 目的・効果をより明確に

### 詳細審査で 平成30年度決算を認定

決算特別委員会(議長、監査委員を除く全議員で構成)は、9月19日から常任委員会を単位とする3分科会に分かれ、一般会計、特別会計、企業会計決算の集中審査を行いました。

分科会審査では、担当部の説明を受け、詳細に質疑を行いました。また、必要に応じて現地視察を実施し、委員間討議を行うなど、活発に議論しながら、討論、採決を行いました。また、事務事業評価をあわせて実施しました。

9月26日には全体会を開催し、分科会審査報告の後、討論、採決を行い、一般会計をはじめ全会計決算を認定としました。

また、認定にあたり、指摘要望事項を市長に送付しました。



亀岡市交流会館を現地視察(総務文教分科会)



不法投棄の現場を現地視察(環境厚生分科会)

### 指摘要望事項

決算認定に当たり、次の3点を意見として要望しました。

**1 隣保館デイサービス事業について**  
行政が主体性を持って事業を推進されたい。

**2 生涯学習賞について**  
設立当初からの副賞の金額を、時代に即して見直されたい。

**3 野鳥の森などの借地について**  
買収するなど、底地整理を図られたい。

人権福祉センターの事業利用者が支払った参加料が、決算書に含まれていなかったことから、行政がチェックできていないのではないかと指摘しました。

生涯学習賞の副賞は、大賞100万円、ゆう・あい賞50万円、共生賞30万円、奨励賞30万円です。この金額が妥当なのかということをお話ししました。

市有地と借地(地元財産区所有)が複雑に混在している現状では、借地料を支払い続けなければなりません。今後のことを考えて、整理すべきではないかと提案しました。



### 事務事業評価で さらにくわしく

決算審査は、全ての事業を対象に行いますが、市政運営や今後の予算編成に議会の意見がより反映されるよう、9事業を選定し評価しました。今回は、特に活発な議論を行った3事業の内容を紹介します。



事務事業評価の様子(産業建設分科会)

#### 総務文教分科会 廃止

##### 移住・定住促進経費 (移住促進施設事業)

《決算額38556万9142円》

「離れ」にのうみの運用により、移住者の増加や観光客などの誘客を図り、地域活性化を図るための経費。

**論点**  
●「離れ」にのうみは、事業目的に沿って運営されているのか。また、今後の方向性はどうか。

**主な意見**  
●現状では、移住者呼び込み、人口減少を食い止める目的が達成できていない。  
●観光振興施設へ切り替え、観光施策の中で稼働率を上げ、シティブロモーションに努められたい。



**解説**  
移住・定住促進施設「離れ」にのうみを移住体験使用する時には宿泊料金が割安になります。昨年度はその利用がありませんでした。今後も、観光振興施設としての使用が主となることから、施設のあり方が大きな議論となりました。

#### 環境厚生分科会 拡充

##### 環境保全対策経費

《決算額800万4812円》

河川の水質検査や騒音測定などの実施による公害の未然防止や、不法投棄監視パトロールや美化推進重点地域での清掃活動などにより、環境美化を推進する経費。

**論点**  
●不法投棄対策に係る事業の具体的な業務内容や業務量、費用対効果はどうか。

**主な意見**  
●様々な手法を駆使して対策を行うとともに、効果的な啓発方法を検討されたい。



**解説**  
「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を行った亀岡市として、不法投棄やポイ捨てを減らし、まちをきれいにするための事業手法や啓発方法について議論を行いました。

#### 産業建設分科会 見直しの上継続

##### 観光推進経費

《決算額9703万2828円》

観光振興を図り、まちのにぎわいを創出するとともに、地域経済の活性化を図るための経費。

**論点**  
●観光協会補助経費、森の京都DMO、森のステーションかめおかなどに対する評価はどうか。  
●各団体との事業連携は十分に図られているのか。

**主な意見**  
●森の京都DMOなど、関係団体と連携し、2020年のターゲットイヤーや、それ以降の観光推進に向け、プロモーション強化を図られたい。  
●滞在型観光の推進と消費拡大に向け、さらに工夫されたい。



**解説**  
亀岡の観光を盛り上げる(「消費額を増やす」)ために、市は団体に補助金を出すだけでなく、もっと連携してより魅力あるまちづくりを進めるよう求めました。

### しんがくんの ワンポイント解説



総務文教常任委員会

RPA導入により市民サービス向上へ

一般会計補正予算  
可決(全員賛成)

自動化する技術のこと。これにより、入力ミスや点検作業もなくなります。

業務効率化により生み出される時間は、相談・訪問・企画などの職員にしかできない仕事に充て市民サービスの向上を図る。

・情報化推進経費  
573万1千円増額  
総務省の導入補助事業の採択を受け、AI(人工知能)の活用による文字を読み取る機械などを購入するための増額補正。

導入後、業務効率化による具体的な効果を検証し、議会に対して報告するよう要望した。

RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)とは、パソコンで行う単純作業を

消防団の装備・資機材を充実

・消防施設整備事業費  
1236万円増額  
消防団の災害対応能力を充実するための増額補正。

力をさらに向上させるため、災害時の救助活動に使用する資機材を充実するための増額補正。



エンジンカッターで車を切断  
(市総合防災訓練での救出訓練)

市内各町19分団にコンクリートや金属などを切断できるエンジンカッターと油圧切断機を配備することで、地域防災力の向上が期待される。

環境厚生常任委員会

幼児教育・保育無償化の経費を増額

一般会計補正予算  
可決(全員賛成)

費や私立幼稚園などの利用に対する給付経費など、所要の経費を増額補正するもの。

【主な質疑】  
問 議員 担当課長など  
市の負担が減額になる部分を活用して他の支援策を実施する考えは。

無償化の主な補正内容	増加額
私立幼稚園等の利用給付経費など	9,973万円
各種事務経費	996万円

10月1日から実施される幼児教育・保育の無償化に向けた事務経費

印鑑登録の記載事項を充実

・戸籍住民基本台帳経費  
当該分76万4千円増額

印鑑登録証明書および印鑑登録原票の氏名欄に、本人からの希望に基づき旧氏を併記できるように対応するための増額補正。

問 市民の利便性はどのように変わるのか。  
答 現在のところ、旧氏が必要な場合は変更前の住民票や戸籍抄本を取る必要があるが、今回の改修により、希望があれば住民票に旧氏が記載できる。

産業建設常任委員会

道路や河川の安全・安心を確保  
プレミアム付商品券事業の実施

一般会計補正予算  
可決(全員賛成)

・プレミアム付商品券事業経費(国事業)  
3億5千万円増額

・道路維持経費、河川維持経費、街路灯管理経費  
3158万8千円増額  
地域こん談会などでの要望を踏まえ、緊急性や危険性の高い箇所を安全を確保するため、亀岡市が管理する道路や河川、街路灯を修繕・維持管理するもの。

保津川水辺公園でバーベキューの利用が可能に

都市公園条例の一部を改正する条例の制定  
可決(全員賛成)

が整備され、誰でもバーベキューを楽しむことができる。

保津川かわまちづくり計画に基づき整備された保津川左岸河川敷を、新たに都市公園法に基づき都市公園として位置づけるもの。車が横づけできる20区画のバーベキューエリア

問 利用料はいるのか。  
答 現段階では無料だが、今後の利用状況などにより検討していく。  
問 ごみの放置問題についての考えは。  
答 関係機関と連携して取り組んでいく。

認定

平成30年度一般会計決算認定  
市民福祉の増進に向けた事業執行を評価

反対討論

共産党議員団 並河 愛子議員

京都スタジアムの完成が近づきつつある中で、交通渋滞の問題や遊水機能を持った場所での水害の心配など、解決されていない問題が多い。新火葬場の整備についても、余部町丸山での建設ありきで進めようとしており、周辺住民への説明もされず、市民との合意形成は後回しとなっている。また、わずか3%の実施率である選択制デリバリー弁当を全中学校に拡大したこと、全員制の中学校給食の実施を一層遅らせるものであり、認めることはできない。

賛成討論

新清流会 大塚 建彦議員

「夢をかたちに かたちを現実」をスローガンとして、子ども家庭総合支援拠点の設置、亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想の推進、小中学校ならびに災害時の避難所でもある亀岡運動公園体育館の空調設備実施計画、環境先進都市を目指す取り組みなどを実施することにも、平成30年7月豪雨をはじめとする昨年の度重なる暴風、豪雨による甚大な被害に対し、迅速に予算を計上して対応された。限られた財源の中で適正に予算を配分し、執行されたことを評価する。

本会議での討論

賛成討論

緑風会 松山 雅行議員

多くの課題に積極的に取り組む、計画的に市民福祉の増進に向けた事務事業の執行に努められた。今後、人口減少が進み、ますます厳しい行政運営が待ち受けることが予測される中で、国や京都府、近隣の市町村との連携をこれまで以上に強力に推進するとともに、事務事業執行においては、単なる思いつきではなく、市民ニーズをしっかりととらえ、目的・効果の明確化およびチェック体制の見直しを徹底し、より一層市民から信頼される亀岡市になるよう期待する。

賛成討論

公明党議員団 山本 由美子議員

厳しい財政状況において、できる限りの財源確保に努められた。さまざまな課題が山積する中、重要事業として掲げていた放課後児童会の拡充や京都スタジアムをランドマークとした魅力あるまちづくりの推進、避難所である亀岡運動公園体育館の空調設備の導入に係る事業などを実施。さらに、昨年多発した自然災害による被害に対し、被災者支援として本市独自の助成制度を創設するなど迅速に対応された。概ね予算に沿って、計画的に事務事業の執行に努められたものと評価する。

討論とは…  
賛成か反対かの意見を表明し、  
他の議員を自己の意見に  
賛同させようとする発言だよ。



人事関係

○次のとおり人事議案に同意しました。

◆畑野財産区管理委員会

- 瀧上 敏明氏
- 石野 一哉氏
- 今西 聡氏
- 山内 亜喜由氏
- 藤原 幸一氏
- 福井 武利氏
- 小橋 一哉氏
- 塚本 綏佳子氏
- 杉崎 六男氏
- 桂 喜久子氏

○人権擁護委員候補者の推薦に異議がないと意見を述べました。

傍聴のご案内とインターネット中継

- 亀岡市議会の本会議を議場でご覧いただくこと(傍聴)ができます。
- 本会議当日に市役所8階議場までお越しいただき、傍聴届に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。
- 手話通訳などをご希望される場合は、会議の1週間前までに議会事務局にご相談ください。

◆ 市役所1階エントランスホールでも、本会議の様子を視聴することができます。

亀岡市議会 議会中継 検索  
※インターネットでも本会議のライブ中継・録画をご覧いただけます。



市政を問う

9月議会では、21人の議員が一般質問(※)を行いました。その主な問答の要旨について各議員の要約原稿を掲載しました。(文責は各議員にあります。)なお、他の質問項目については、亀岡市議会ホームページでご覧いただけます。

(※)一般質問とは、議員が市の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況や方針などを質問することをいいます。議長、副議長、議会選出の監査委員は、一般質問を行いません。

全員賛成で可決した議案

付託委員会	件名	結果
決算	H30国民健康保険事業特別会計決算	認定
	H30休日診療事業特別会計決算	〃
	H30地域下水道事業特別会計決算	〃
	H30介護保険事業特別会計決算	〃
	H30後期高齢者医療事業特別会計決算	〃
	H30土地取得事業特別会計決算	〃
	H30曾我部山林事業特別会計決算	〃
	H30水道事業会計決算	〃
	H30下水道事業会計決算	〃
	H30病院事業会計決算	〃
総務文教	H30亀岡財産区ほか29財産区特別会計決算	〃
	H30水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決
	H30下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	〃
	R1一般会計補正予算(第2号)	〃
	R1畑野財産区特別会計補正予算(第1号)	〃
環境厚生	地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	〃
	市立幼稚園条例の一部改正	〃
	市立図書館条例の一部改正	〃
	R1一般会計補正予算(第2号)	〃
	R1介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃
産業建設	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	〃
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	〃
	印鑑条例の一部改正	〃
	財産の無償譲渡	〃
	R1一般会計補正予算(第2号)	〃
	R1土地取得事業特別会計補正予算(第1号)	〃
	R1水道事業会計補正予算(第1号)	〃
	R1下水道事業会計補正予算(第1号)	〃
	自転車等駐車場条例の一部改正	〃
	都市公園条例の一部改正	〃
水道事業給水条例及び下水道条例の一部改正	〃	
訴えの提起	〃	
市道路線の認定、廃止及び変更	〃	
付託省略	畑野財産区管理委員会委員の選任	同意

環境市民部長 ①これから地元の説明会

長澤 ①住民への説明や調査結果によっては、基本計画の見直しもあり得るのか。②基本計画を見直し、現火葬場用地で住民合意の下に検討すべきではないか。

長澤 ①環境施策における規制と支援の中で、支援の要素を重視すべきではないか。②レジ袋の罰則付き規制ではなく、削減努力を奨励する方策をとるべきではないか。

市長 ①一定の規制は必要である。一方で、市民・事業者の自主・自立的な取り組みへの支援を検討する必要がある。②国では来年4月から有料化が始まる。亀岡市においては、さらなる一歩を進め、事業者の理解もいただき、一定のルールをつくる必要がある。

新火葬場整備基本計画を見直し、現用地で住民合意の下に検討すべき

長澤 ①住民への説明や調査結果によっては、基本計画の見直しもあり得るのか。②基本計画を見直し、現火葬場用地で住民合意の下に検討すべきではないか。

市民や事業者の環境にやさしいまちづくりへの支援を重視すべき

市長 ①一定の規制は必要である。一方で、市民・事業者の自主・自立的な取り組みへの支援を検討する必要がある。②国では来年4月から有料化が始まる。亀岡市においては、さらなる一歩を進め、事業者の理解もいただき、一定のルールをつくる必要がある。



長澤 満 議員

学校給食費の徴収・管理に係る教員の業務負担を軽減すべき

山本 学校給食費徴収・管理に関するガイドラインを適宜参考とし、学校給食費の公会計化を一層推進されたいとの文部科学省の通知を踏まえ、学校給食費の公会計化導入の考えは、

山本 令和元年5月から、選択制デリバリー弁当が全中学校を対象に実施されている。現在、給食ではなく昼食として位置付けられていることから、就学援助制

山本 令和元年5月から、選択制デリバリー弁当が全中学校を対象に実施されている。現在、給食ではなく昼食として位置付けられていることから、就学援助制



山本 由美子 議員

選択制デリバリー弁当を就学援助制の対象に

山本 学校給食費徴収・管理に関するガイドラインを適宜参考とし、学校給食費の公会計化を一層推進されたいとの文部科学省の通知を踏まえ、学校給食費の公会計化導入の考えは、

教育部長 給食費の徴収管理システムの構築や維持管理経費、職員配置などが必要となり、検討には一定の期間を要すると考える。収納率の低下が懸念されるところであり、導入については慎重に研究・検討していきたい。

賛否の分かれた議案



各議案の内容は、亀岡市ホームページに掲載しているよ。

○賛成 ×反対、態度保留など

会派名	新清流会					緑風会			共産党議員団	公明党議員団	無党派													
議員名	浅田晴彦	大塚建彦	小川克己	奥野正三	福井英昭	西口純生	菱田光紀	石野善司	木村勲	赤坂マリア	三宅一宏	松山雅行	木曾利廣	竹田幸生	長澤満	三上泉	田中愛子	並河愛子	富谷加都子	山本由美子	藤本弘	小松康之	平本英久	
付託委員会	件名・結果																							
決算	H30一般会計決算																							
	認定	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

※齊藤一義議員は議長職のため表決権はありません。

山林の荒廃がまちの安全をおびやかすのではないか



福井 英昭 議員

福井 本市の面積の70%を占める山林は健全な状態ではないと考えるがどうか。

福井 国有林・府有林の現状は。

産業観光部長 亀岡 市内には国有林・府有林がそれぞれ約150ヘクタールあり、森林林業施設全体の推進に貢献するよう取り組まれている。

福井 各財産区が保有する山林について、本来の山林管理がでない状況になっていないか。

会計管理室長 人材や資金の不足により適正な管理が難しい財産区もある。

産業観光部長 里山に放置された不要木や危険木の整備に対する補助金交付のほか、京都府と連携し、治山施設の設置を計画的に進めている。

福井 財産区制度を将来にわたって維持できるのか。

持続可能な地域公共交通システムの構築を望む



富谷 加都子 議員

公共交通については、タクシーも新たなフアクターとして議論されている。本市の方向性は。

市長 多様な輸送手段への支援制度の充実に向け、タクシー助成制度の創設を考えている。バス・タクシー・鉄道の事業者と連携・役割分担するとともに、地域の交通は地域で支えるという機運を醸成する中で、持続可能な公共交通の実現に向けて取り組みたい。

民生委員・児童委員欠員時に地域と行政とを結ぶ強化要員の配置を

富谷 民生委員・児童委員の活動の底上げのため、強化要員を配置する考えは。

健康福祉部長 本市での導入は難しいが、

多くの人が利用する駅には喫煙ブースの設置を



三宅 一宏 議員

三宅 路上喫煙の規制に関する条例が施行されたが、規制はどうなっているのか。

健康福祉部長 平成31年1月からJR4駅とトロッコ亀岡駅の周辺道路を路上喫煙禁止区域に指定した。7月からは指導員が定期的に巡回し、禁止区域内での喫煙に対して指導している。

三宅 喫煙できる場所はどこか。

健康福祉部長 個人の敷地内や法律により定められた喫煙専用の場所となる。

ふるさと納税による収入確保の取り組みは



石野 善司 議員

成30年度の寄附金のうち、地域活性化の財源となった額はいくらか。

市長公室長 寄附受け入れ額は6億995万円で、各所管の基金に積み立てて運用している。経費として支出した額は2億9189万円であり、地域活性化の財源となった額は3億1806万円である。

道の駅ガレリアかめおかのレストラン再開を

石野 ガレリアかめおかは開館から21年が経過した。開館以来、複数の事業者によりレストラン経営がなされてきたが、現在は休業となっている。今後のあり方を検討しているのか。

生涯学習部長 いろ

ジャンボタニシ駆除のため、石灰窒素や農薬への補助を求める



田中 豊 議員

抑えるため、石灰窒素や農薬に対して補助を行う考えは。

田中 ジャンボタニシによる被害状況は。産業観光部長 駆除については石灰窒素や農薬の散布が有効だが、地域全体での対策が必要なことから、京都府やJAとも連携する中で、効果的かつ環境にも配慮した対策のあり方を研究していきたい。

田中 対策を研究していたら、私に質問するのは、農薬や石灰窒素に対する助成ができないかということである。

田中 稲刈りをしたときに、農業水路の擁壁や稲株にも卵がついていた。今後、かなり広い範囲に広がっていくのではないかと。被害を

保津川流域のごみ問題に係る条例制定とバーベキュー場の整備は



木村 勲 議員

木村 保津川流域のごみ放置をなくし、景観を守るため、保津川条例を策定する予定は。また、保津川水辺公園以外の都市公園にバーベキュー場をつくる予定は。市長 市域全体での

府道王子並河線の大井踏切の改善は

木村 多くの市民が往来するJR大井踏切は、道幅が狭く危険な状態が続いている。JRとの協議は行っているのか。

まちづくり推進部事業担当部長 JRからは、複線電化事業

「住みよい」と実感できない税金の使い方は正しかったのか



三上 泉 議員

三上 亀岡市の「住みよさランキング」の低さ(※下表)をどう見るか。市民の不満度も高い。税金の使い方はこれでよ

自治体別	住みよさランキング
2019年版	全国812
京都市内	15市中
総合評価	659位
財政健全度	718位
の採択率	720位
の採択率	737位

(※東洋経済新報社調べによる)

幼児教育・保育の無償化に伴う国からの財源で副食費を無償にすべき

三上 消費税を財源にした幼児教育・保育の無償化は制度的に問題がある。児童福祉法の精神にのっとり、国からの財源を生かして副食費を無料にできないのか。

こども未来部長 府内では、井手町・宇治田原町・和束町・伊根町・南山城村で

武道場の畳は傷みが激しく、安全のために新調・補修が必要である



大塚 建彦 議員

大塚 亀岡中学校の武道場の畳が傷んでいる。平成7年の体育館しゅん工以来、新調・補修されておらず、安全な使用は困難になってきてい

亀岡駅南周辺地区都市再生整備計画の概要は

大塚 本年度予算で1千万円が計上された亀岡駅南周辺地域の都市再生整備計画事業のうち、高質空間形成施設整備の概要は。

まちづくり推進部長 計画地区内の主要な幹線道路の歩道の修景整備や交差点部

川東地域の現状と今後の道路整備は



浅田 晴彦 議員

浅田 通学路および地域住民が利用する道路は、整備を基本として定期的に維持管理をしていただいている。しかし、市道川東線においては、街路樹が大きく育ち、根元が盛り上がり、アスファルトが割れているところもある。

市長 安全な通学路の確保について、市道川東線の歩道に植えられた街路樹が相対的な成長している。街路樹の枝葉による見通しの不良や、根上がりによる路面のごぼごぼが通行に支障を来している箇所が顕著となっていることから、地元からも伐採などの対策が望まれている。今後、通学路の安全を確保するための対策を行っていききたい。また、公衆街路灯の新設については、各自治会から多くの設置要望があり、小・中学校の通学路や公道を最優先に順次設置している。国道477号については、コミュニティ助成事業を活用し、来年度の実施に向けて取り組むと考えている。

赤ちゃんやママ・パパへの災害時のストレス緩和を



松山 雅行 議員

松山 災害時の備蓄品として乳児用液体ミルクを追加導入することについて、本市の見解は。

総務部長 本市では、昨年度から300グラム缶を個別に配給

民間との連携で子育て世代へのサポート充実を

松山 子育て用品の貸し出しを充実し、本市の魅力発信につなげられるよう、民間企業との連携も含めた本市としての考えは。

市長 民間企業のリースを行っているが

窓口業務における外国人への対応(通訳)は



竹田 幸生 議員

竹田 日本語を話せない外国人に対する各窓口共通の対応マニュアルはあるのか。

環境市民部長 市役所の窓口において、共通の対応マニュアルはない。

竹田 対応マニュアルが必要である。民間の通訳ボランティアの存在もあり、今後、連携して対応することを望む。

自然豊かで蛭が飛び交う千々川について

竹田 千々川は水生生物も豊かであり、蛭が飛び交っている。流域には地球環境子ども村や千代川小学校がある。自然を守り、多くの蛭が観られる取り組みができないか。

生涯学習部長 生息状況や生息環境を把握した上で、地元の皆様と環境保全団体の協力も得ながら

竹田 地域住民の活動に対する行政の積極的な協力を望む。

並河 府道王子並河線は道幅が狭く交通量も多い。また、大井踏切は対面で車両が通過すると人が歩けない。対策が必要と考えるがどうか。

安全な道路行政について、通学路や大井踏切の道幅は



並河 愛子 議員

並河 今回の消費税増税は、プレミアム付商品券等の発行やキャッシュレス決済時のポイント還元、インボイス制度導入など、複雑な制度となり、市民生活の破壊だけでなく地域社会への影響も計り知れない。増税中止を求めるべきではないか。

市長 少子高齢化が進む中、誰もが安心して暮らせる持続可能な社会保障制度の維持・充実に努めるための対策であると考えている。増税の中止を求めるようなことはない。

のふた掛けの実施に向け、準備をいたしている。大井踏切については、複線化事業により一定改良済みである。現在事業化されている並河亀岡停車場線の第2工区が完成すれば、踏切の交通量が減少すると考える。

まちづくり推進部長 京都市において、道路側溝

災害復旧未着手箇所今後の計画は



奥野正三 議員

奥野 畑野町の閉亀川の砂防堰堤整備が未着手のまま1年以上経過しているが、その経緯は。

が、一部の箇所については年度内の完成が困難である。奥野 本梅川の護岸工事の進捗状況は。

まちづくり推進部長 用地買収に係る関係地権者との協議に時間を要している。早期完成に向けて、京都府に強く働きかける。

まちづくり推進部長 15カ所のうち4カ所は復旧済みである。残りの箇所は今年度中の完成を目指して発注準備を進めている。

奥野 宮前町宮川地区細谷の土砂崩落の修復計画は。

奥野 崩土除去、側溝清掃法面などの土砂・倒木の撤去を実施した。今後もパトロールを実施していく。

奥野 千ヶ畑川の護岸工事の計画は。

奥野 パトロールを引き続き実施し、状況把握をお願いする。

まちづくり推進部長 現在、工事発注準備を行っている。今年度中の完成を目指していた。

奥野 市民生活への影響を最小限にとどめるため、公共交通機関の利用促進を図るとともに、観戦者のスタジアムからの帰宅時間の分散化と京都縦貫自動車道の大井インター・千代



木曾利廣 議員

京都スタジアム完成後の市民生活に影響する交通量調査結果への対策は

木曾 京都スタジアムへの交通アクセスについて、交通量調査の結果を踏まえ、本市としてどのように分析し、どのような対応策を考えているのか。また、国道9号と京都縦貫自動車道を中心とした対策はあるが、地域の生活道路への車の進入対策は。

川インターへ向かう迂回ルートへの誘導などの対策を講じることにより、混雑が予想される加塚交差点や頼政塚交差点へ流入する車を軽減することが重要と考える。頼政塚交差点への左折レーンの新設も検討していきたい。今後、主催者（興行者）と京都府と亀岡市で具体的な検討を進め、なるべく分散化を促すような取り組みにつなげていきたい。亀岡市としては、広報紙を活用するなど、できる範囲で市民に対する啓発を行っていききたい。



スタジアム完成予想図

今こそ亀岡の歴史・文化の伝承と新資料館（博物館）の新設を  
小川 亀岡市内には貴重な文化財などがまだまだ眠っていると思う。かめおか歴史発見隊と銘打ち、積極的に広報を行い、貴重な資料が失われないうちに調査すべきではないか。  
市長 地域の方々の意見を十分に聞きながら検討したい。  
小川 新資料館構想をもとに、観光関係者も含め、幅広く市民からの意見を聞く「文化フォーラム」の開催を検討してはどうか。  
市長 市民の暮らしに必要不可欠な施設であるという意識を共有できる「亀岡市民文化フォーラム」のような取り組みが必要だと感じている。

湯の花温泉の環境整備および観光地発展のための対策は



赤坂マリア 議員

赤坂 市道湯の花温泉線の草木が生い茂り、標識が見づらくなるなど通行に支障を来している。市のチェック機能はどうか。

市長 昨年の豪雨による被災後、通行確保のために大型土のうを設置した。国の査定検査を受け、工事の発注に向けて取り組んでいる。今後も維持管理に努めながら、年内の完成に向けて取り組みたい。

市長 職員による道路パトロールや市民の通報により、随時現場を確認している。草刈りなどの軽作業は、地域ボランティアや沿線住民にお世話になっていて。今後も迅速かつ適正な管理に努めたい。

赤坂 今後、湯の花温泉をどのようにPRしていくのか。

産業観光部長 観光協会や森の京都DMOなどと連携し、さまざまなツールを活用することにより、国内外にPRしていきたい。また、京都スタジアム内に湯の花温泉PR用の足湯施設が整備されると聞いている。

赤坂 芦ノ山団地の入口に土のうが積んであり、雨の日は土砂が溢れて市道に流

れ出ている。いつになれば改善するのか。



西口純生 議員

堤防沿いの市道から亀岡駅北口への乗り入れの法線はどうなるのか

西口 右岸堤防の市道から亀岡駅北口への乗り入れは早期完成が不可欠である。どのような法線になるのか。

まちづくり推進部長 環境への影響が懸念されたことから、現道を拡幅するルートに変更して進めていくこととした。

西口 当初の計画では市道から亀岡駅北口まで一直線につながる計画であった。なぜ変更したのか。

西口 専門家は、アユモドキとまちづくりを共生させることを地元と約束したにもかかわらず、共生していないではないか。約束を破ったというのであれば、地元として絶対に許すことができず、保全への協力も考え直さなければならぬ。霞堤の嵩上げも計画されている。アユモドキに与える影響について、実証実験もせずに想定だけで判断し、人の命に関わる治水事業に影響を与えるようなことになれば、その責任は重大である。

まちづくり推進部長

まちづくり推進部長



小川克己 議員

プラごみゼロを目指す「環境先進都市亀岡」への取り組みは



菱田光紀 議員

菱田 亀岡市と亀岡市議会が共同で行った「かめおかプラツスチックごみゼロ宣言」では、「2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指します。そして、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む『世界に誇れる環境先進都市』を実現します。」とある。コンビニや商店街における取り組み状況は。

市長 一部の店舗でレジ袋有料化の実証実験が開始された。商店街については、商店街連盟などと協定を締結し、賛同店舗では有料化を実施されている。  
菱田 農産物直売所の取り組みは。

市長 コンビニについては、レジ袋有料化の協定締結には至っておらず、有料化はされていないが、

市長 直売連絡協議会では、環境と深い関わりがある農業に携わる者だからこそできることとして、エコバッグの持参を呼びかけるポスターを作成し、各店舗に掲示する取り組みを行っている。プラごみゼロの取り組みを通じて、環境に配慮した農業を消費者に発信し、亀岡産農産物のブランド力向上につなげていきたい。



# 相隣関係の複雑さゆえ、空き地の草刈りにも環境美化条例の積極的な適用を



小松 康之 議員

**小松** 環境美化条例には空き地の雑草管理も規定されている。地域での対応の限界を超えた事案に対して条例を適用することはできないのか。

**小松** 環境美化条例に規定する指導、勧告、措置命令、代執行の適用例はあるのか。

**環境市民部長** 現在までに適用した事例はない。

## 学力テストの結果や分析、対策は市民全員が共有すべきものと考え

**小松** 南丹市の小・中学校のホームページには自校の学力テストの結果やその分析、まとめが公表されている。本市の取り組みはどうか。

**教育長** 現在のところ掲載していない。

**環境市民部長** これまで、文書や訪問指導により改善に努めてきた。今後、指導後も改善されず周辺住民への影響が大きい場合などは、状況に応じて、条例の適用を検討したい。

る掲載していない。

**小松** 学力テストの数値目標は。

**教育長** 全国および府平均を上回ることである。

掲載内容は、質問議員がそれぞれ執筆したものです。

## 監査委員の活動報告



監査委員  
平本 英久 議員

監査委員の主な業務は、定期監査、決算審査や例月現金出納検査など、亀岡市の財務に関する事務執行・事務処理などが適正に行われているかを監査することです。

監査委員は、その職務において、市の財政や事業執行などに密接に携わることなどから、亀岡市議会では、本会議での一般質問を行わないこととあわせ、決算特別委員として決算審査には加わらないことを申し合わせています。

責任の重い職務ですが、市政の根幹に詳細に携わることができるとは大変貴重な経験だと思います。今後引き続き任期いっぱいまで業務にまい進していきたいと思っています。

【今後、議長・副議長のひとことや監査委員の活動報告などを掲載していきます。】

## 市民の声

### 本会議を傍聴して



中川 貴美子さん  
突抜 町

議会を傍聴するのは決して嫌いではありません。もちろん初めてでもありません。むしろ、仕事などの都合がつくのであればぜひとも見たい、聞きたい方です。

ただ、今回も気になったことは、いかに子育て世代の人が傍聴にいられていないかということです。関心がないのか、感心はあるが

仕事があるために行けないのか。行きづらいのか、行ってもよく分からないからなのかは分かりませんが、よほど感心がないと行かないのでしょうか。それは何故か？やはり、行政独特の形式や用語、言い回しが、とっつきにくさと分かりにくさを助長しているように思います。

もう少し若い世代が参加しやすいように、選挙も議会の傍聴についても何か特典があるといいと思います。他人事ではなく、自分事だと認識するきっかけづくりとして。

## 編集後記

亀岡祭も終わり、紅葉が目に見え鮮やかな季節となりました。今号の表紙の写真は、今年10月に平の沢公園の上池に飛来した「コウノトリ」です。自然豊かな亀岡を象徴しています。

今回、議員対談の新企画が始まりました。内容は、決算特別委員会を初めて経験した新人議員2人と決算特別委員長による対談です。

令和元年度の広報部会の編集方針は、市民目線とごん新企画です。議会だよりの内容や企画に、市民の皆さんからの意見やご要望を反映していきます。よろしくお願いたします。

## 広報広聴会議

- 広報広聴会議委員
- 委員長 小川 克己
- 副委員長 大塚 建彦
- 委員
- 三上 泉
  - 赤坂 マリア
  - 富谷 加都子
  - 大塚 建彦
  - 並河 愛子
  - 木村 勲
  - 奥野 正三
  - 松山 雅行